

製品安全データシート

Material Safety Data Sheet

作成日：2009年1月23日



会社名 株式会社 ピュアソン
 住 所 東京都豊島区池袋2-63-4
 担当者 石田 智洋
 T E L 03-5960-3121
 F A X 03-5960-3128

MSDS No. 21SA-P001

製品名 アクアテクノG&M

種類 酸性液体

主な用途

物質の特定 単一・混合物の区分 : 混合物
 主成分 :

成分名	CAS No.	含有量 (%)	P R T R法 指定化学物質
有機酸	—	1~2%	—
無機酸塩	—	1~2%	—
ケイ酸系鉱物	—	24~27%	—
陰イオン活性剤	—	0.7~1.2%	—
増粘剤	—	0.4~0.8%	—
イオン交換水	—	66~73%	—

危険有害性の分類 分類の名称 : 該当しない
 危険性 : 該当しない
 有害性 : 目に対して刺激性があり、長時間皮膚に接触すると、肌荒れをおこすことがある。

応急処置

- ◆目に入った場合 : 清浄な水で最低15分洗浄した後、異常があれば医師の診断を受ける。
- ◆飲み込んだ場合 : 水で口をよくすすぐ。可能であれば水を飲ませ嘔吐させた後医師の診断を受ける。
- ◆皮膚に付着した場合 : 流水で洗い流す。
- ◆吸入した場合 : 気分が悪くなった場合は、直ちに使用をやめ風通しのよい場所に移動し、新鮮な空気を吸わせる。

※上記応急処置を行っても回復しない場合は、本製品を持参の上、医師の診断をうける。

火災時の措置 消火方法 : 本製品は不燃性であるが、加熱した場合着火源があると燃えることがある。
 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
 消化作業は、可能な限り風上から行う。

初期の火災 . . . 水、粉末、泡沫、炭酸ガス等で消火。
 大規模火災 . . . 大型泡沫消火器が有効である。
 周辺火災 . . . 可能な限り容器は安全な場所に移動する。

消火剤 : 水、粉末、泡消火器。

漏出時の措置 少量の場合は、布、砂、土等で拭き取るか、スコップ等ですくい取って密閉できる空容器に回収する。
 多量の場合は、盛り土で囲って流出を防止し安全な場所に導いてから処理する。

取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意： 1) 目、皮膚及び衣類等に触れないように、また吸引しないように保護具を着用する。
 2) 取扱い後は、手、顔、身体をよく洗う。
 3) 容器は手荒な扱いをせず、内容物の漏洩を防止する。
 4) 詰め替え等の作業時は、目に入らないように注意し、容器が破損しないように、乱暴な取扱いを避ける。

保管上の注意： 1) 直射日光を避け、風通しの良い室内に密栓し冷暗所で保管する。

暴露防止措置

許容濃度 日本産業衛生学会勧告値：なし
 厚生労働省掲示の管理濃度：なし
 ACGIH勧告値：なし

防止対策 設備対策：取扱いの場所の近くに水洗、洗眼装置を設けてください。

保護具：作業着、安全靴、ゴーグル型保護メガネ及びゴム製保護手袋を着用のこと。
 必要に応じて、顔面シールド、ゴム長靴及びミスト防止マスクを着用のこと。

物理／化学的性質

外 観：淡灰色乳化性液体
 液 性：酸性
 P H：3.2～4.2
 比 重：1.1800～1.3000
 粘 度：3500～4300c/p
 溶 解 性：水に一部溶解
 分 解 性：データなし

安定性・反応性

可 燃 性：通常の条件ではなし
 発 火 性：通常の条件ではなし
 安定性・反応性：通常の条件では、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。

危険性情報

引 火 点：データなし
 発 火 点：データなし
 爆 発 限 界：データなし

有害性情報	項 目	摘 要
	皮膚腐食性	データなし
	眼刺激性	データなし
	皮膚刺激性	データなし
	感作性（呼吸器／皮膚）	データなし
	急性毒性	データなし
	局所効果	データなし
	亜急性毒性	データなし
	慢性毒性	データなし
	発ガン性	JARCに設定されていない
	変異原性	変異原性物質には指定されていない

環境影響情報 漏洩または廃棄等の際には、環境に影響を与えることがある。特に製品や洗浄水が地面、川、排水溝

に直接流れこまないようにする。

項目	摘要
生分解性	データなし
蓄積性	データなし
魚毒性	データなし

廃棄上の注意 ●廃薬品、容器等の処理は地元の自治体の指示によって行うこと。

輸送上の注意 ●取扱い、保管上の注意の項の記載による他、一般的注意事項に従う。
●容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込む。また、輸送中に互いに衝突して破損することのないように、予め適当な緩衝材を詰める等の処置をし、荷崩れ防止を確実に行う。
陸上輸送：該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送法に従うこと。
海上輸送：船舶安全法に従うこと。
航空輸送：航空法に従うこと。
国連番号：該当なし

適用法規

消防法	該当せず
労働安全衛生法	該当せず
水質汚濁防止法	該当せず
毒物・劇物取締法	該当せず
P R T R法	該当せず
化審法	該当せず
船舶安全法	該当せず
航空法	該当せず
港則法	該当せず

記載内容の取扱い この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
本文章の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。
すべての化学品には未知の有害性があり得る為、取扱いには細心の注意が必要です。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途用法に適した安全対策を実施の上ご使用下さい。
ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。
記載された物性値、含有率などは、製品の一般的な値を示した物で、規格値、保証値ではありません。